



ふうちゃんとづうの
パパをむかえに

あずま かずま



ざあ ざあ ざあ

ポツ ポツ ポツ

おおあめ です

これから ブウと いっしょに

おつかいで パパを むかえに いくんだ。



てんきよほう で
あめが ふるって いったのに
パパ、かさを もたないで
かいしゃに いっちゃったんだ



えきに ついた パパは
やっぱり こまって いました。
「そうだった... あめが ふるって いったな...」
いまごろ おもいだしても おそいです。



「ええい！ はしって かえろう！」
あめのなかはしりだしちゃいました。
パパ、ぬれちゃうよー。

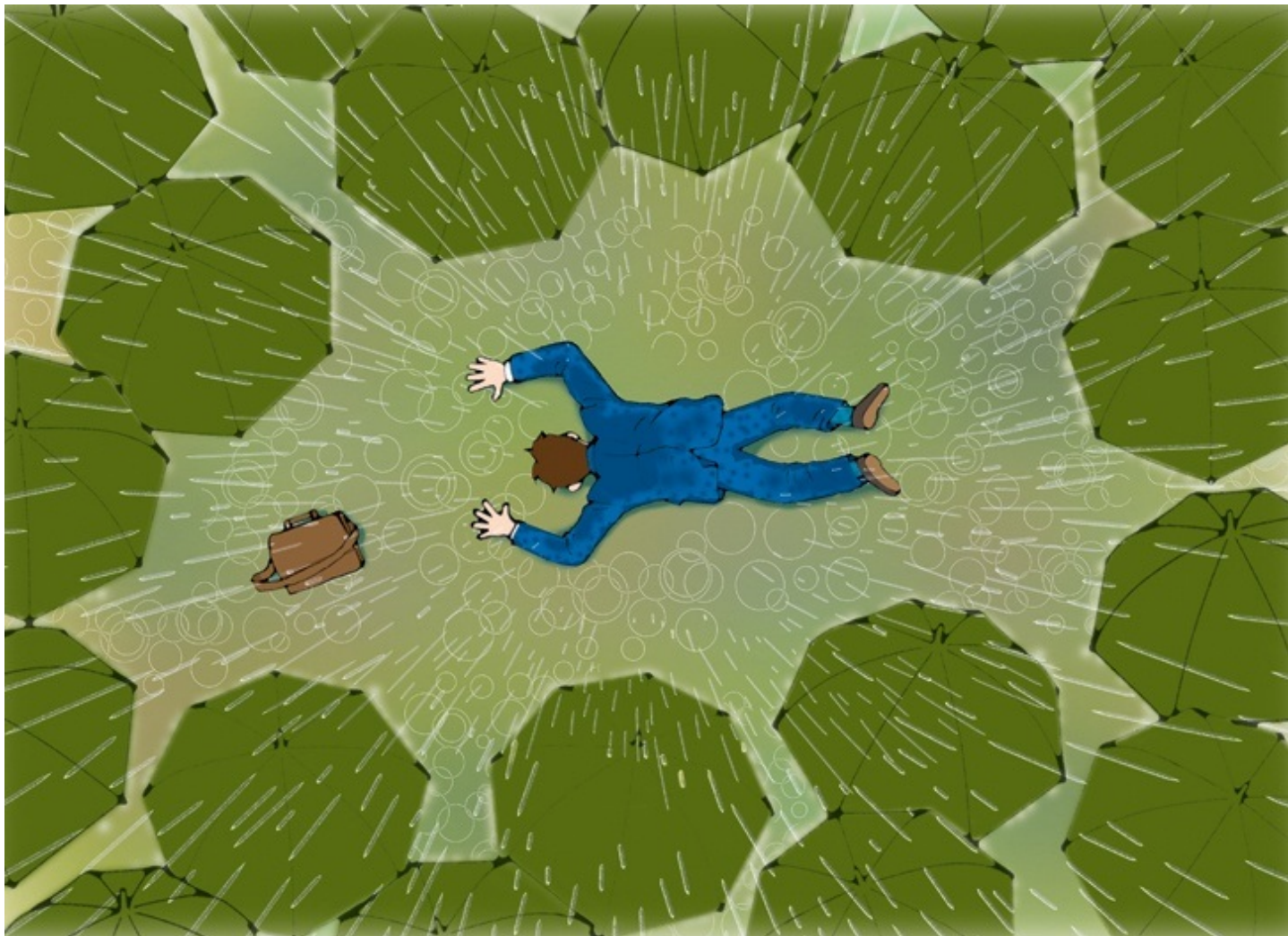


ひとのかさにぶつかったり
かさにとおせんぼされたり
かさがささりそうになったり。

パパ、きをつけないとあぶないよー。



「あっ！」
べった~~~~ん!!!



ころんじゃった!



しんせつな人が
パパを おこしてくれました。



あ～あ

びちょびちょです。

かいしゃのふくが ドロンコです。

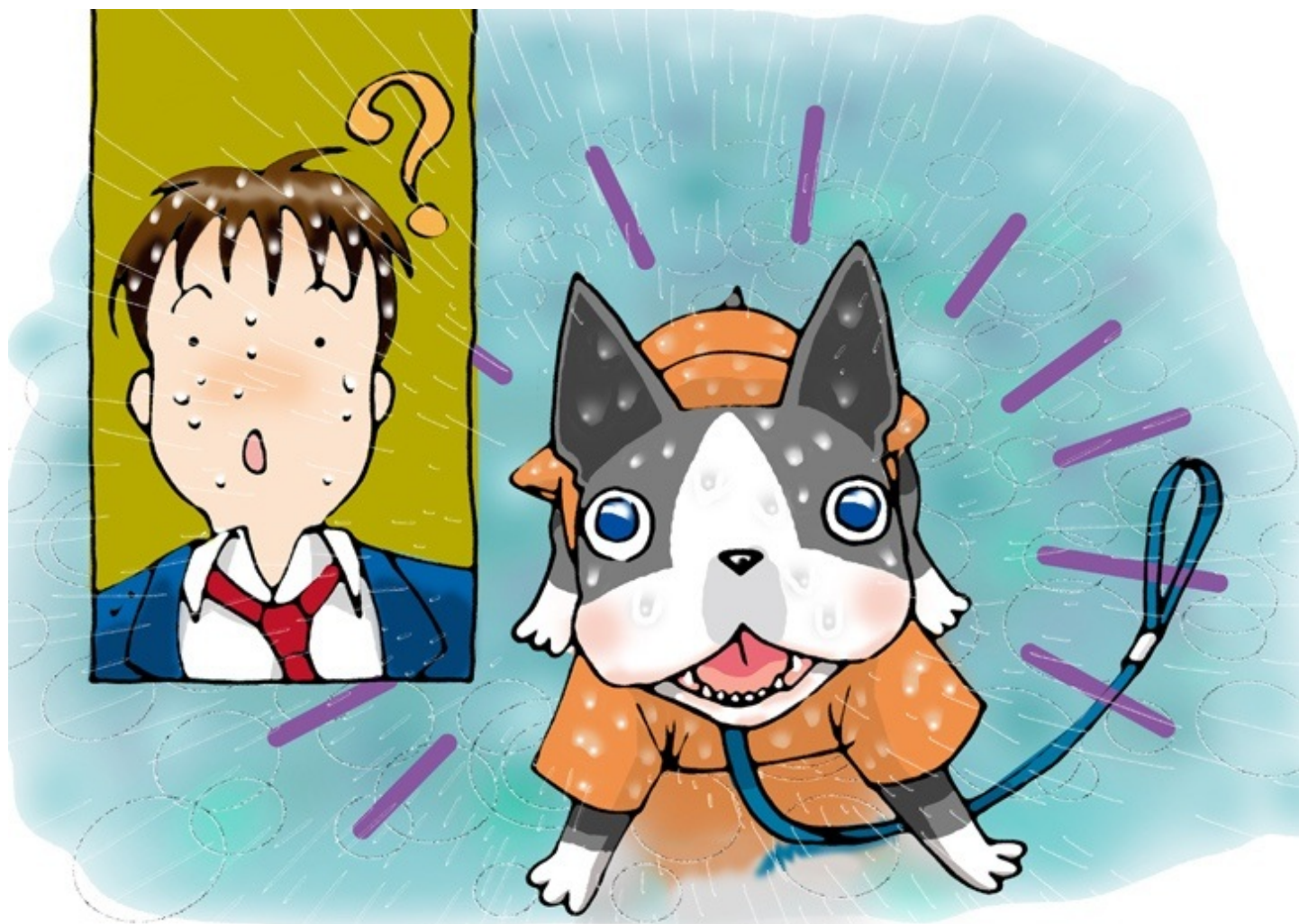
パパの かおも ドロンコです。



パパ、げんきなくなっちゃった。

まってね、

いま いくからね。



「ワン、ワン、ワン」
さすがに ブウは はやいなあ。
ボクより さきに パパを 見つけました。



「ブウ・・・
ふうちゃん！」



「パパ、おかえりなさい」



「パパ かさ もってきたよ」
かさ させば もう ぬれないよ」



「あっ！」
べっしゃ〜〜ん!!!
こんどは ぼくが ころんじゃいました。



いたくて くやしくて はずかしくて
ボク、なみだが でちゃいました。

「ははは おやこで ドロンコで おそろいだね」

「よしよし。もう なかないの」

ブゥも ボクを しんぱいして
ペロペロ なめてくれました。



ボクが もってきた かさを ひろげたら
なかから あめが ふってきました。

ポタ ポタ ポタ ポタ ポタ ポタ ポタ ポタ ポタ ポタ ポタ ポタ

うわーん
かさ さしたら ぬれちゃうよー。



「さあ うちへ かえろう」
パパが ボクを おんぶしてくれました♪
パパも ボクも ドロンコだし
ママが しんぱいするし
おおいそぎで うちに かえらなくちゃ。



「しゅっぱ〜っ！」

「ブウ いくよ」

「ワン ワン」

ブウも うれしそうです。

パパは ボクを おんぶ してるのに
かるがると はしります。

パパは ちからもち だなあ。

パパって すごいなあ って おもいました。



めのまえに　すごく　おおきな
みずたまりが　ありました。

そしたらね
パパ
とんだんだよ！
フワ～って！



パパ

みずたまりの まんまんなかに おりたんだよ！

そしたら みずしぶきが

はなび みたいに ぶわーっと

うみの おおなみ みたいに なったんだ。

ブウは ビックリしすぎて

すってんころりんさ。



みずしぶきが あめ みたいに
ボクたちの あたまに ふってきて
またまた ぬれちゃいました。

なんだか おかしく なっちゃったよ。



「ガオー ガオー かいじゅうだぞー」
ボクも パパも みずたまりの なかを
おもいきり ちからをいれて
あるき まわったんだ。
そうすると
みずが すごく はねるんだ♪
ブウも かいじゅう みたいな へんな かおして
ついてきてたっけ。



「ダダダダ ドドドド どうろこうじ だぞー」

かさを ドリルにして

みずたまりを けて

そうすると

ほんとに どうろこうじ みたい。

おもしろくって♪

たのしくって♪

カエルさんも いっしょに やろうよ♪



カエルさんに あわせて
みんなで いっしょに
「もういっかい だ～～い ジャ～～～ンプ!!!!」



ばっしゃ~~~~ん!!!

ちゃくち せいこう~。



ボクと
パパと
ブウは
あめと
みずたまりで
たくさん あそびました。



パパが あめに ぬれないように、って
ボクに おつかいを たのんだのに
みんなが びちょびちょで かえってきて
ママは かんかんです。

「はやく、お風呂に はいりなさい！」



ママにおこられちゃったね。

「そうだねえ」

でも たのしかったね。

「ああ たのしかったね

ふうちゃんの おむかえも うれしかったよ」

ボクは また パパが かさを わすれると
いいのになあ って おもいました。

おしまい